

舞鶴市 津波ハザードマップ 保存版

【発行】舞鶴市 市長公室危機管理・防災課 TEL.0773-66-1089 (平成31年3月作成)

このマップの活用法

浸水範囲は?

自宅周辺の災害の程度を確認しましょう

自宅周辺やよく行く場所などが、災害により、どの程度の被害を受ける想定なのかを確認しておきましょう。

避難場所

近くの避難場所とその周辺を確認しましょう

避難場所も被害を受ける可能性があります。どこに避難場所があり、そこはどんなところか知っておきましょう。

避難経路を確認しましょう

近くの避難場所までの避難経路を確認し、離ればなれになったときの集会所や安否確認の方法などについて、家族や地域で話し合っておきましょう。

いざというときの連絡先

名称	連絡先(0773)	名称	連絡先(0773)
警察	110	舞鶴共済病院	62-2510
消防	119	舞鶴医療センター	62-2680
舞鶴市 市長公室危機管理・防災課	66-1089	舞鶴赤十字病院	75-4175

地震発生後の行動

地震発生

1 まずは自分の身を守る



地震の際の安全確保行動

- 1 姿勢を低く!
- 2 体・頭を守って!
- 3 揺れがおさまるまで動かない!

緊急地震速報を見聞きしたら...

「緊急地震速報」は、地震によって大きな被害が出ると思われる地域を対象に、揺れが始まる前にテレビ・ラジオ・防災行政無線や携帯電話(対応機種)などからみなさんに伝えられます。この「緊急地震速報」を見聞きしてから数秒〜数十秒後に強い揺れが始まりますので、この間を守るための行動をとる必要があります。ただし、震源地に近い地域では「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります。

地震発生後に

2 揺れがおさまってから、火の元の確認、火の始末、電源オフ



揺れがおさまれば安全になってから火の元を確認し、元栓を閉めましょう。また、電気のブレーカーを切りましょう。

3 家族の安否確認

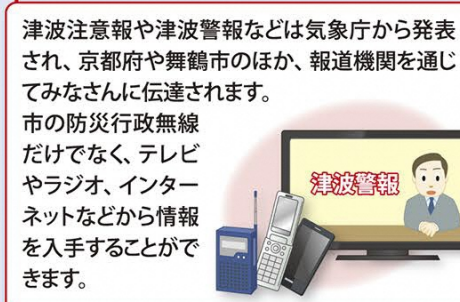
家族の無事を確認しましょう。家族内で事前に決まり事を作っておくようにしましょう。

わが家の防災メモ(家族で話し合って記入しましょう)

- わが家の避難先
- 家族が離ればなれになったときの集合場所

住民のみんさんが

4 津波情報を確認



津波注意報や津波警報などは気象庁から発表され、京都府や舞鶴市のほか、報道機関を通じてみなさんに伝達されます。市の防災行政無線だけでなく、テレビやラジオ、インターネットなどから情報を入手することができます。

情報の入手

京都府防災・防犯情報メール

京都府や市町村から気象情報や防災・防犯に関する情報が配信されます。以下のアドレスに空メールを送信すると、登録案内のメールが届きます。

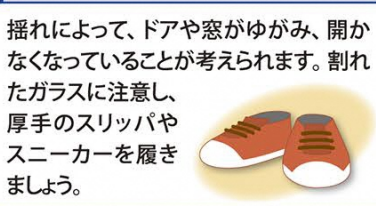
anzen@k-anshin.pref.kyoto.jp

京都府 防災メール

気象庁(津波情報)

https://www.jma.go.jp/jp/tsunami/

5 避難経路の確保



揺れによって、ドアや窓がゆがみ、開かなくなっていることが考えられます。割れたガラスに注意し、厚手のスリッパやスニーカーを履きましょう。



避難のとき、両手が自由に使えるように非常持ち出し品はリュックサックなどにまとめましょう。

6 近所の安全確認

近所の家屋が倒壊して埋もれている人はいないか、火災は起きていないか確認しましょう。



津波ハザードマップ図郭案内図

この津波ハザードマップは、平成28年3月に京都府が実施した「津波浸水想定」に基づき、津波による浸水の深さを表示しています。現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。浸水深の青色がされていない場所でも被害が発生するおそれがあります。



「津波災害警戒区域」について

津波災害警戒区域とは、最大クラスの津波が発生した場合に、住民の生命・身体に危害が生じるおそれがある区域で、津波災害を防止するために警戒避難体制を特に整備すべき区域のことです。津波防災地域づくりに関する法律(第53条第1項)に基づき、平成29年3月に「津波災害警戒区域」が京都府において指定されました。この指定により、津波浸水想定区域内の全域が津波災害警戒区域となりました。

命を守る津波対応チャート

こんなときには

強い地震 や ゆつたりした揺れ を感じたら...	自治体から 避難指示(緊急) 避難勧告 避難準備・高齢者等避難開始 が発令されたら...	揺れを感じなくても 大津波警報(特別警報) 津波警報 津波注意報 が発表されたら...
-----------------------------------	--	---

避難してください!

- ▶このような行動を...
- 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や、堅牢な高層階の建物などの安全な場所へ避難してください。
 - 沿岸部にいる住民はただちに避難してください。
 - ここなら安全と思わず、より高い場所を目指して避難してください。

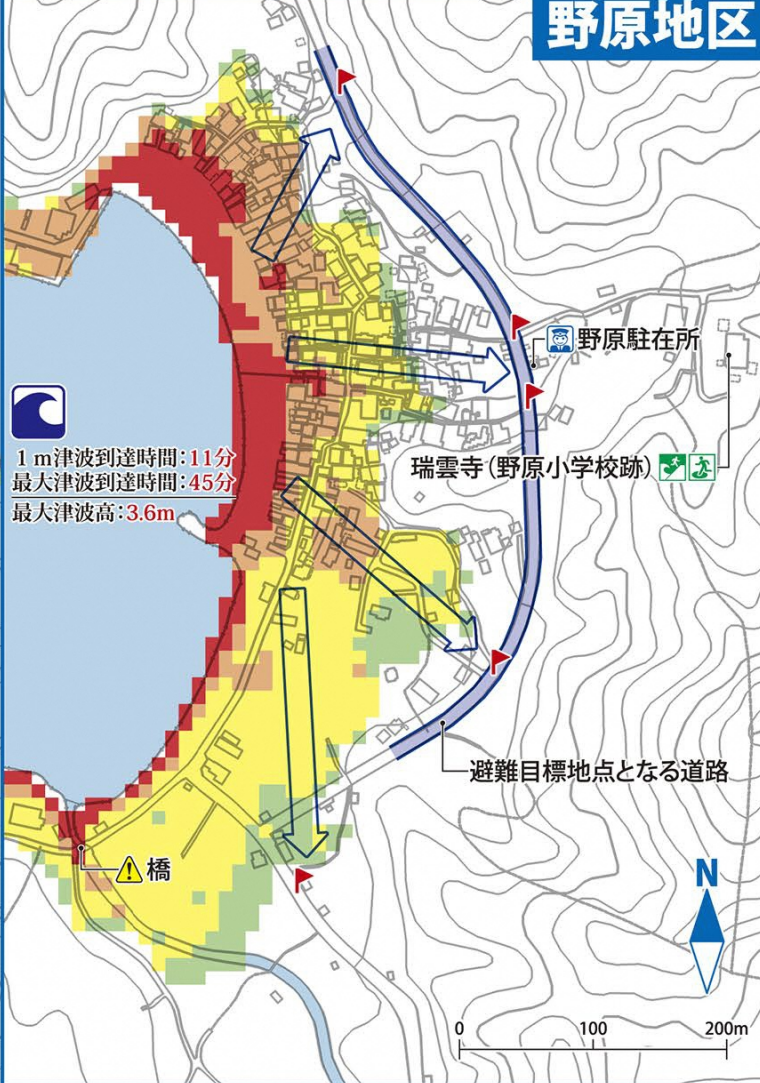
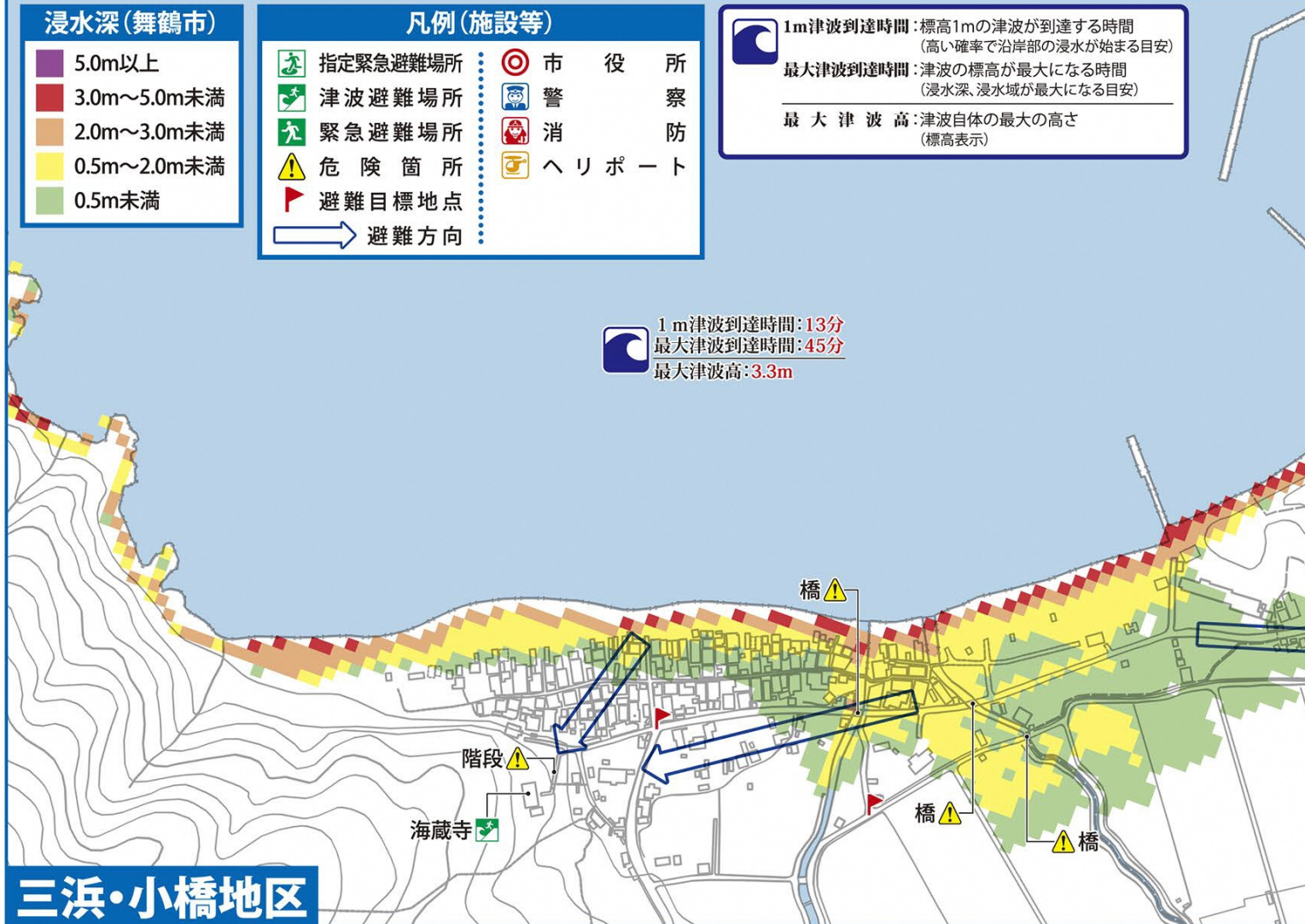
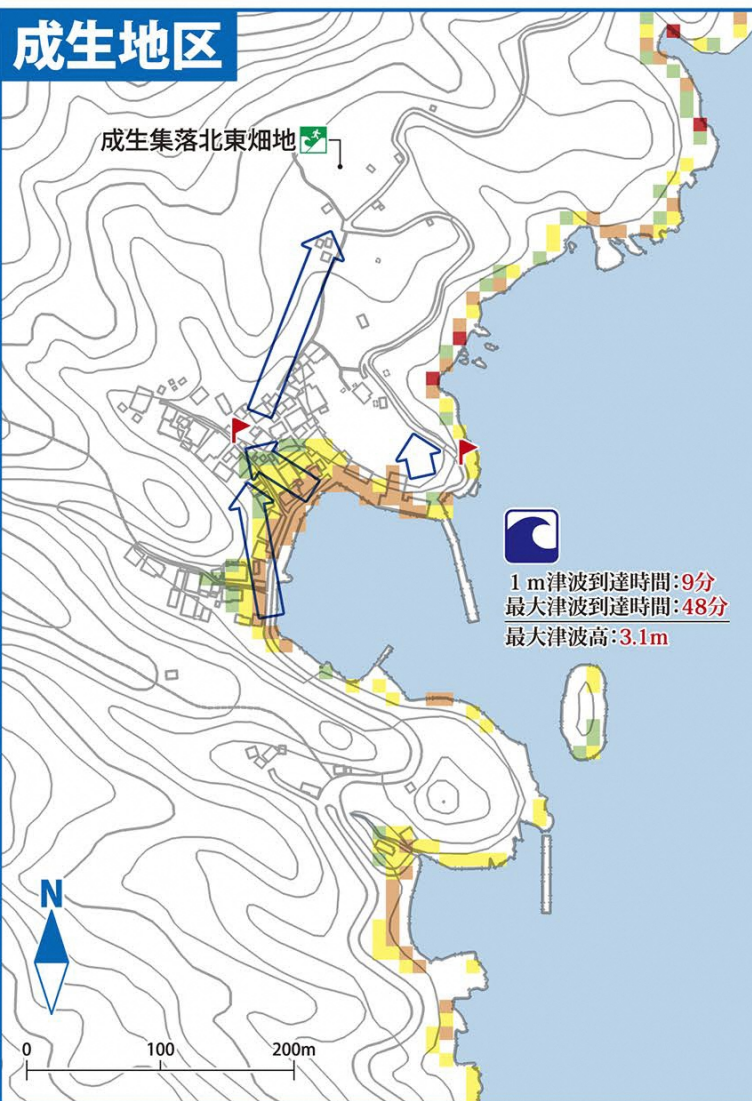
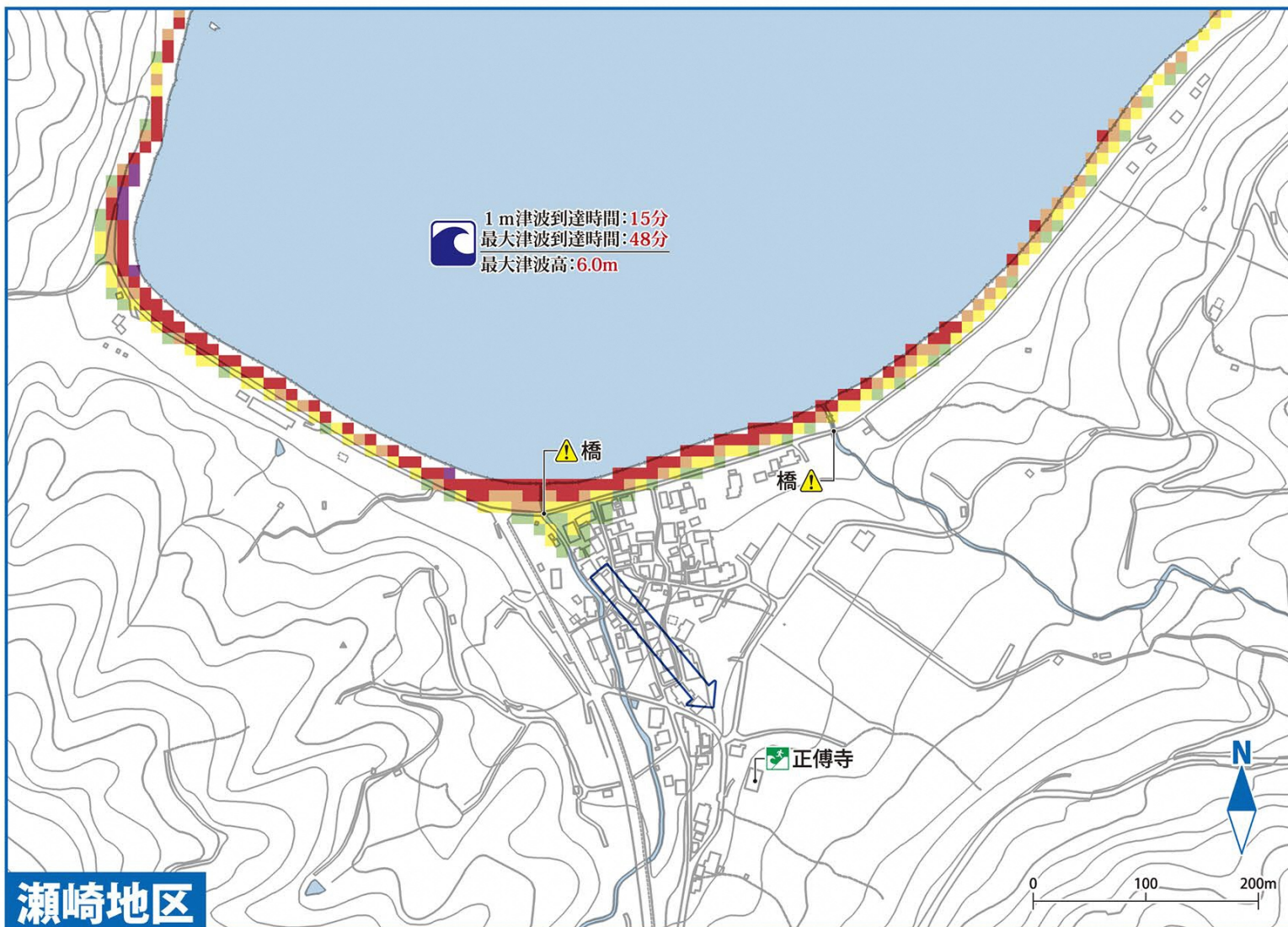
- ▶その後は...
- 正しい情報をラジオ・テレビなどで入手してください。
 - 津波は繰り返し襲ってくるので、警報・注意報が解除されるまでは絶対に海岸に近づかないでください。

津波の警報と注意報

地震発生後、津波による災害の発生が予想される場合には、大津波警報・津波警報・津波注意報が発表されます。

情報の種類	予想される津波の高さ	
	数値での発表	巨大地震の場合の発表
大津波警報(特別警報に位置付け)	10m超(10m<高さ)	巨大 木造家屋が全壊・流失し、人は津波に巻き込まれます。
津波警報	10m(5m<高さ≤10m)	高い 標高の低いところで浸水被害が発生します。人は津波に巻き込まれます。
	5m(3m<高さ≤5m)	
津波注意報	3m(1m<高さ≤3m)	(表記しない) 海の中では人は強い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。
	1m(20cm≤高さ≤1m)	

津波警報・注意報が出された場合、津波の到達予想時刻や予想される津波の高さなどの「津波情報」が発表されます。



浸水深(舞鶴市)

- 5.0m以上
- 3.0m~5.0m未満
- 2.0m~3.0m未満
- 0.5m~2.0m未満
- 0.5m未満

凡例(施設等)

- 指定緊急避難場所
- 津波避難場所
- 緊急避難場所
- 危険箇所
- 避難目標地点
- 避難方向
- 市役所
- 警察
- 消防
- ヘリポート

1m津波到達時間: 標高1mの津波が到達する時間(高い確率で沿岸部の浸水が始まる目安)

最大津波到達時間: 津波の標高が最大になる時間(浸水深、浸水域が最大になる目安)

最大津波高: 津波自体の最大の高さ(標高表示)